

参考資料（資料 3 関係）

京都市高齢社会対策実態調査の調査票

- 京都市高齢者生活実態調査
- ボランティア団体・NPO団体調査

資料にある調査票は実物を 1 / 2 に縮小しています。

京都市高齢者生活実態調査票

ご協力をお願い

我が国は世界に例を見ない速さで人口の高齢化が進んでおり、約 10 年後（2015 年）には国民の4人に1人が、さらに 35 年後（2040 年）には3人に1人が 65 歳以上という長寿社会が到来します。

京都市におきましても、65 歳以上の高齢者の全人口に占める割合が、平成 17 年 7 月には 20.1%と高齢化の進展が著しく、豊かな長寿社会の実現はまさに市政の最重要課題の一つとなっております。

この調査は、昭和 55 年度から5年ごとに実施しているもので、皆様方が、日頃どのような生活をされ、長寿社会等についてどのような考えをお持ちかをおたずねすることにより、高齢化が進展していくなかで、高齢者の方々が生きがいを持って安心して暮らすことができる長寿社会を実現するための重要な資料とさせていただきます。

調査にご協力いただき、市内にお住まいの 60 歳以上の平成 17 年 9 月 1 日現在の中からは無作為に選定された 5,000 人の皆様です。

お答えいただいた内容は、統計資料を得る目的のみに使用し、皆様には不利益なことがないよう、秘密の保持には万全を期しておりますので、ご協力をお願いいたします。

【記入上のお願ひ】

- ・調査票は封筒の宛名の方、**ご本人が記入してください。**ただし身体上の問題や病気等により記入が不可能な場合は、その方の状況がわかる方が代わりにご記入ください。
- ・お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。質問により一つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。

記入していただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、平成 17 年 9 月 22 日（木）までにご返送くださいますようお願いいたします。

平成 17 年 9 月

京 都 市

■この調査に関するお問い合わせおよび送付先

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（担当：八代、後藤）

電話 222-3406

最初に、ご本人に代わって、ご家族などが記入される場合だけ、お答えください。
調査対象者のご本人との関係は次のどれにあたりますか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 配偶者（妻・夫） | 5. 親 |
| 2. 娘 | 6. 孫 |
| 3. 息子 | 7. その他の親族 |
| 4. 嫁・婿 | 8. その他（ ） |

■最初にあなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたのお住まいの地域に○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|--------|----------|
| 1. 北区 | 8. 南区 |
| 2. 上京区 | 9. 右京区 |
| 3. 左京区 | 10. 西京区 |
| 4. 中京区 | 11. 洛西支所 |
| 5. 東山区 | 12. 伏見区 |
| 6. 山科区 | 13. 深草支所 |
| 7. 下京区 | 14. 醍醐支所 |

問2 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの年齢はどれにあたりますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 60 歳～64 歳 | 4. 75 歳～79 歳 |
| 2. 65 歳～69 歳 | 5. 80 歳以上 |
| 3. 70 歳～74 歳 | |

問4 あなたのお宅の世帯構成はどれにあたりますか。（○は1つ）

- | |
|--------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） |
| 2. 一世代（夫婦のみ） |
| 3. 一世代（兄弟姉妹のみ） |
| 4. 二世代同居（あなたと親） |
| 5. 二世代同居（あなたと子供） |
| 6. 三世代同居（あなたと子供と孫） |
| 7. 三世代同居（あなたと親と子供） |
| 8. その他（ ） |

問5 あなたの健康状態についていちばん近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 大変健康である
2. 大した病気や障害もなく、普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる
4. 何らかの病気や障害などがあって外出は一人でできないが、家の中の生活はおおむね自分で行っている
5. 何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）上で生活している
6. 何らかの病気や障害などがあって、トイレ、食事、着替えなども介助を要し、1日中ベッド（ふとん）の上にいる

■子どもさんの同居についておたずねします。

問6 あなたには、お子さんがいらっしゃるかどうか。(○は1つ)

1. いる (別居) → 副問へ
2. いる (同居) → 問7へ
3. いない

副問 お子さんがいらっしゃる方で、現在お子さんと「別居」している方にお聞きします。

(1) あなたはお子さんとはよく往き来していますか (手紙や電話も含む)。(○は1つ)

1. 毎日のように往き来している
2. 週に1～2回
3. 月に1～2回
4. 年に数回
5. この1年間ほとんどない
6. その他 ()

(2) あなたはお子さんと同居したいと思われませんか。(○は1つ)

1. できれば同居したいと思う
2. 同居したいと思わないが、近くに住んでいてほしい
3. 同居したいと思わない
4. その他 ()
5. わからない

(3) お子さんと同居していない主な理由は何ですか。(おもなもの3つ以内に○)

1. お互い健康で同居する必要がないから
2. 生まれ育った土地から離れたくないから
3. 同居できる家がないから
4. お互い気兼ねなく暮らしたいから
5. 子どもが別居を希望するから
6. 子どもや自分の仕事の関係があるから
7. その他 ()

■あなたの家族の中での役割についておたずねします。

問7 あなたは、ご家族や親族の方々の中で、現在、どのような役割を果たしていますか。(おもなもの3つ以内に○)

1. 家事を担っている
2. 孫などの小さい子どもの世話をしている
3. 病気や障害を持つ家族・親族の世話や介護をしている
4. 家計を支えている
5. 家族・親族の相談相手になっている
6. 家族・親族の中のまとめ役になっている
7. その他 ()
8. 特に役割はない

■あなたの仕事・就労のことについておたずねします。

問8 現在あなたは何か収入になる仕事をしていますか。(○は1つ)

1. 仕事をしている → 副問1へ
2. 仕事をしていない → 副問2へ

副問1 問8で「1. 仕事をしている」とお答えの方にお聞きします。

(1) どのようなお仕事ですか。(○は1つ)

1. 商工自営業
2. 農林水産業自営業
3. 家族従業員
4. 会社役員
5. 常用勤労者
6. 臨時・日雇・パート
7. 内職
8. その他 ()

(2) 現在働いている理由は何ですか。(おもなもの3つ以内に○)

1. 生活費をまかなうため
2. 生活費の不足を補うため
3. こづかいが欲しいから
4. 健康によいから
5. 友達がほしいから
6. 仕事そのものが面白いから
7. 何もしないでいると退屈だから
8. 社会のために役立ちたいから
9. その他 ()

(3) いつまで働きたいと思っておられますか。(○は1つ)

1. 60歳～64歳
2. 65歳～69歳
3. 70歳～74歳
4. 75歳以上

副問2 問8で「2. 仕事をしていない」とお答えの方にお聞きます。

仕事をしていない理由は何ですか。(おもなもの3つ以内に○)

1. 自分に合った適当な仕事がないため
2. 病気がちであるため
3. 家族が反対するため
4. 特に生活には困っていないから
5. 働きたくないから
6. その他の理由 ()

問9 あなたの収入源は何ですか (おもなもの3つ以内に○)

1. 働いて得る給与等
2. 国民年金など公的年金
3. 恩給
4. 企業年金等私的年金
5. 預貯金の引き出し
6. 持家などの賃貸収入や利子配当所得
7. 同居家族の収入
8. 子どもからの援助
9. 生活保護
10. その他 ()

問10 あなたの年間の総収入 (年金なども含め、税込みで) はいくらですか。(○は1つ)

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～200万円未満
4. 200～300万円未満
5. 300～400万円未満
6. 400～500万円未満
7. 500～600万円未満
8. 600～700万円未満
9. 700万円以上

■近所づきあい等についておたずねします。

問11 あなたの隣近所とおつきあいはどの程度ですか。(○は1つ)

1. 会えば挨拶をする
2. たまに立ち話をする
3. 預かりものをしたり、留守を頼んだりする
4. 困ったときに相談にのったり世話をしあう
5. ほとんどつきあいはない

問12 あなたご自身が地域や隣近所で、「手助けや協力ができそうなもの」は何でしょうか。また、逆にあなたや家族が「人の手助けや協力をあてにできそうなもの」は何でしょうか。(それぞれの設問であてはまる番号にすべてに○)

左の欄の当てはまる項目の番号に○を入れてください

	あなたが手助けや協力ができそうなもの	人の手助けや協力をあてにできそうなもの
➤ 話し相手	1	1
➤ 家事の手伝い	2	2
➤ 食料品・日用品などの買い物	3	3
➤ 子どもたちの世話 (遊び相手や見守り)	4	4
➤ ひとり暮らし高齢者などの見守りなど	5	5
➤ 急病人が出たときの世話や手伝い	6	6
➤ 冠婚葬祭の手伝い	7	7
➤ その他 ()	8	8
➤ すべてできそうにない	9	9
➤ わからない	10	10

■あなたの住宅・住環境のことについておたずねします。

問13 あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

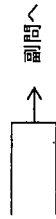
1. 持家 (一戸建)
2. 持家 (長屋棟)
3. 持家 (マンション)
4. 民間の借家 (一戸建)
5. 民間の借家 (長屋棟)
6. 民間の借家 (アパート・郊荘)
7. 民間の借家 (マンション)
8. 府営・市営住宅
9. 公団・公社の賃貸住宅
10. 社宅・公務員住宅など
11. 間借り
12. その他 ()

問14 あなたは今の場所にどのくらいお住まいですか。(○は1つ)

1. 1年未満
2. 1～2年未満
2. 2～5年未満
3. 5～10年未満
4. 10～20年未満
5. 20～30年未満
6. 30年以上

問15 あなたにとって、あなたが今、お住まいの地域（中学校区の範囲内）の住み心地はどうですか。(○は1つ)

1. とても住み心地がよい
2. まあまあ住み心地がよい
- 3.それほど住み心地がよくない
4. 非常に住み心地がよくない
5. その他 ()



副問 問15で、「3」、「4」にお答えの方にお聞きします。

「住み心地がよくない」主な理由は何ですか。(おもなもの3つ以内に○)

1. 環境がよくないから（騒音がある、公園や緑が少ないなど）
2. 買い物などの日常生活が不便だから
3. 病院や公共施設（福祉施設等）が近くにないから
4. 安全でないから（事故や犯罪にあらう危険性があるなど）
5. 近所での人間関係がよくないから
6. その他 ()

問16 あなたは、今のお住まいからの住み替えを考えていますか。(○は1つ)

1. 考えている → 副問へ
2. 考えていない
3. わからない → 問17へ

副問 問16で「1. 考えている」とお答えの方にお聞きします。

(1) 住み替えを考えている理由は何でしょうか。(あてはまるもの全てに○)

1. 住宅事情のため（家が古い・狭い・日当たりがよくないなど）
2. 住宅環境のため（買い物などの日常生活が不便・周辺で騒音があるなど）
3. 家族事情のため（子どもとの同居、子どもの転勤、孫の教育など）
4. 近所づきあいが難しいため
5. その他 ()

(2) 住み替えはどのような地域を希望しますか。(○は1つ)

1. 京都市内のまちなかで便利などところ
2. 京都市内の郊外で静かな緑の多いところ
3. 京都市外
4. その他 ()

■あなたが生活上で困っていることやあなたの相談相手についておたずねします。

問17 あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。(おもなもの3つ以内に○)

1. 自分や家族の健康のこと
2. 働く場のこと
3. 住宅事情や住環境のこと
4. 生きがいや楽しみのこと
5. 収入・財産・預金など経済的なこと
6. 家族関係のこと
7. 友人関係、近所づきあいのこと
8. その他 ()
9. 特に困っていることはない

問18 あなたに悩みや心配ごとがある場合、気軽に相談できる相手はどのような人ですか。
(おもなものの3つ以内に○)

1. 家族・親戚
2. 近所の知人・友人
3. かかりつけ医
4. 民生委員・児童委員、自治会役員
5. 保健師、福祉事務所などの行政職員
6. 在宅介護支援センターや介護サービス事業所の職員
7. その他 ()
8. 相談できる相手はいない

問19 あなたは、今の地域（中学校区の範囲程度）で生活していく上で、今後、必要とお感じになっていることは何ですか。(おもなものの3つ以内に○)

1. 特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設
2. 地域内の身近な医療サービス（訪問医療、訪問看護など）
3. 公園・緑地などの憩える場所
4. 地域の人が気軽に集える施設（集会所など）
5. 外出時の身近な交通手段（地域内の循環型バスなど）
6. 災害や犯罪などに対する地域での取組（防災・防犯体制など）
7. 近隣の助け合い意識・協力意識
8. その他 ()
9. 特になし

■あなたが知りたい情報についておたずねします。

問20 次にあげる中で、知りたいけれども分りにくいと感じるのは何ですか。
(おもなものの3つ以内に○)

1. 仕事（就労あっせんなど）について
2. 年金について
3. 税金や相続について
4. 住宅（改築、転居など）について
5. 社会参加（ボランティアなど）について
6. 余暇活動や生涯学習・スポーツについて
7. 医療や健康問題について
8. 介護保険について
9. 社会福祉について
10. その他 ()
11. 特になし

■あなたが関心を持っている社会問題についておたずねします。

問21 あなたは、次にあげる社会問題の中で、興味や関心のあるものは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 介護・医療・年金などの福祉に関すること
2. 自然保護やゴミ問題、地球温暖化防止などの環境に関すること
3. 青少年の健全育成や教育に関すること
4. 子どもの数の減少や子育て環境などの少子化に関すること
5. 人権に関すること
6. 景観や街並み保全などまちづくりに関すること
7. 地域の安全・安心に関すること（防災・防犯など）
8. 景気や就労・雇用などの経済問題に関すること
9. 国際問題・外交問題に関すること
10. その他 ()
11. 特に興味・関心なし

■ご家庭にある生活安全機器や情報機器の状況についておたずねします。

問22 あなたの家にある生活安全設備にはどのようなものがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 消火器
2. 住宅用火災警報器
3. スプリンクラー
4. ガス漏れ検知器
5. 自動火災報知設備
(マンション用)
6. 電磁調理器
7. ホームセキュリティ
8. 緊急通報システム
9. 感知式防犯ライト
10. その他（具体的に)
11. 特になし

問23 あなたは、日頃、生活に必要な情報をどのようなものから得ていますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 人・口コミ
2. 新聞・雑誌・チラシ等
3. テレビ・ラジオ
4. パソコン（メール・ホームページなど）
5. 携帯電話（メール・ホームページなど）
6. その他（具体的に)
7. 何も使っていない

■あなたの交友関係についておたずねします。

問24 あなたは、ふだん親しくしている友人・仲間がどの程度いますか。(○は1つ)

1. たくさんいる → 副問へ
2. 少しいる
3. いない → 問25へ

副問 問24で「1. たくさんいる」「2. 少しいる」と答えられた方にお聞きします。

あなたが、ふだん親しくしている友人・仲間はどのような方ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 学校時代の友人
2. 職場の同僚・元同僚
3. 近所の人
4. 趣味を通じた仲間
5. その他 ()

■あなたが参加している社会活動についておたずねします

問25 あなたが、現在参加している団体や組織はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 老人クラブ
2. 町内会・自治会・女性会
3. 趣味のサークル・団体
4. 健康・スポーツのサークル・団体
5. 学習・教養のサークル
6. 市民活動団体 (NPO)、ボランティア団体
7. その他 ()

問26 あなたは、この1年間に、個人または友人あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動に参加したことがありますか。参加した活動を全てお答えください

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善 (環境美化、緑化推進、まちづくりなど)
3. 生活安全活動 (交通安全、防犯・防災など)
4. 高齢者への支援 (家事援助、移送など)
5. 障害のある人の支援 (家事援助、移送など)
6. 子育て支援 (保育への手伝いなど)
7. 地域行事 (祭などの地域の催しものの世話など)
8. 青少年の健全育成支援 (見守り、巡回指導など)
9. その他 ()
10. 参加したものはない → 副問2へ

副問1 問26で「1」～「9」に答えられた方にお聞きします。

(1) あなたが、最も力を入れて参加した活動はどれですか。(○は1つ)

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善 (環境美化、緑化推進、まちづくりなど)
3. 生活安全活動 (交通安全、防犯・防災など)
4. 高齢者への支援 (家事援助、移送など)
5. 障害のある人への支援 (家事援助、移送など)
6. 子育て支援 (保育への手伝いなど)
7. 地域行事 (祭などの地域の催しものの世話など)
8. 青少年の健全育成支援 (見守り、巡回指導など)
9. その他 ()

(2) あなたは、その最も力を入れた活動にどのくらい参加していますか。(○は1つ)

1. 毎週
2. 月に1回程度
3. 年に数回程度
4. 一定していない

(3) あなたが、その最も力を入れた活動に初めて参加した時期は、あなたの生活の上では、どの段階でしたか。(○は1つ)

1. 独身時代
2. 結婚してから
3. 子どもを持ってから
4. 子育てが終わってから
5. 子どもが自立してから
6. 退職してから
7. その他 ()

(4) あなたが、その最も力を入れた活動に参加したきっかけは、どのようなことからでしたか (あてはまるもの全てに○)

1. 友人、仲間のすすめ
2. 家族のすすめ
3. 行政の広報紙をみて
4. 活動団体の呼びかけ
5. 自治会、町内会の呼びかけ
6. 個人の意志で
7. その他
8. 特にない

(5) あなたが、その最も力を入れた活動に参加してよかったと思うことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 生活に充実感ができた
2. 自分の技術・経験を生かすことができた
3. 新しい友人を得ることができた
4. 社会への見方が広まった
5. 健康や体力に自信がついた
6. お互いに助け合うことができた
7. 地域社会に貢献できた
8. その他
9. 特にない

副問2 問26で「10. 参加したものはない」に答えられた方にお聞きします。

あなたがこの1年間にこれらの活動に参加しなかったのはどうしてですか。
(あてはまるもの全てに○)

1. どのような活動が行われているか知らないから
2. 経費や手間がかかるから
3. 気軽に参加できる活動が少ないから
4. 同好の友人・仲間がいないから
5. 活動に必要な技術、経験がないから
6. 家庭事情(通院、家事、仕事など)があるから
7. 活動場所が近くにないから
8. 健康・体力に自信がないから
9. その他
10. 特に理由はない

■あなたの社会活動への参加意向などについておたずねします。

問27 あなたは、グループや団体で自主的に行われている活動(地域での活動)に、今後とも(又は今後は)参加したいと思いますか。(○は1つ)

1. 参加したい
2. 参加したいが、事情があって参加できない
3. 参加したくない
4. わからない

副問 問27で、「1. 参加したい」「2. 参加したいが、事情があって参加できない」を選ばれた方にお聞きします。

現在参加している活動も含めて、今後、参加したいと思われる活動を選んでください。(あてはまるもの全てに○)

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善(環境美化、緑化推進、まちづくりなど)
3. 生活安全活動(交通安全、防犯・防災など)
4. 高齢者への支援(家事援助、移送など)
5. 障害のある人への支援(家事援助、移送など)
6. 子育て支援(保育への手伝いなど)
7. 地域行事(祭などの地域の催しものの世話など)
8. 青少年の健全育成支援(見守り、巡回指導など)
9. その他
10. 参加したいものはない

問28 あなたは、社会活動に参加する際の条件としては何が必要だと思いますか。(主なもの3つ以内に○)

1. 一緒に活動する仲間がいること
2. 団体等から参加の呼びかけがあること
3. 団体の活動内容が事前によくわかること
4. 活動場所が家の近くにあること
5. 自分自身に活動に役立つ技術・経験があること
6. 活動時間や期間にあまり拘束がないこと
7. その他
8. わからない

問29 地域のためのボランティア活動を盛んにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(主なもの3つ以内に○)

1. 団体活動の内容をより多くの人に知らせること
2. 団体活動のリーダー(指導者)を養成すること
3. 団体活動の拠点(集会所等)を整備すること
4. ボランティア活動に役立つ研修や講座をひらくこと
5. 活動に必要な機材の提供や金銭の援助を行うこと
6. その他
7. わからない

■今後拡充すべき高齢者福祉サービスについておたずねします。

問30 あなたは、国や自治体の高齢者福祉サービスについて、今後どのようなことを拡充すべきだと思いますか。(おもなもの3つ以内に○)

1. 特別養護老人ホームなどの福祉施設の充実
2. 身近にあって通えたり、一時的に宿泊できる小規模な福祉施設の充実
3. 介護相談・介護指導・福祉関連の情報提供
4. 福祉に携わる人材の養成と確保
5. 介護が必要な状態になるのを防ぐ介護予防事業の充実
6. 保健所での保健指導などの健康づくり事業の充実
7. 高齢者の生きがい対策事業の充実
8. 一人暮らし高齢者などの地域での見守り体制の整備
9. その他（ ）

問31 いずれ高齢期を迎える若い人々への助言や、行政への要望など自由にご意見を
お聞かせください。

※調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
※記入もれなどがないか、もう一度お確かめの上、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま平成17年9月22日(木)までにご返送下さい。

ボランティア団体・NPO団体調査票

ご協力 の お 願 い

我が国は世界に例を見ない速さで人口の高齢化が進んでおり、約 10 年後（2015 年）には、国民の4人に1人が、さらに 35 年後（2040 年）には、3人に1人が65歳以上という長寿社会が到来します。

京都市におきましても、65 歳以上の高齢者の全人口に占める割合が、平成 17 年 7 月には 20.1%と高齢化の進展が著しく、豊かな長寿社会の実現はまさに市政の最重要課題の一つとなっております。

この調査は、高齢者の社会参加を促進し、より多くの人が健康で生き生きとした生活を送れるように、多くの市民が社会参加の場として活動されているボランティア団体・NPO団体などに対して、団体の活動方針などをお聞きするもので、高齢者の方々が生きがいを持って安心して暮らすことができる長寿社会を実現するための重要な資料とさせていただきます。

なお、この調査票は、（ひと）まち交流館 京都市のホームページに掲載され、情報を公開されている団体にお送りしています。

この調査票にお答えいただいた内容は、統計資料を得る目的のみに使用し、皆様には不利益なことの無いように、秘密の保持には万全を期しておりますので、ご協力をお願いいたします。

【記入上のお願ひ】

・調査票は封筒の宛名の方、「代表者の名を記入してください」。ただし代表者の方が不在など事情がある場合は代理の方でも結構ですが、できるだけ団体の状況がわかる方がご記入ください。

・お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。質問により一つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。

記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、平成 17 年9月22日（木）までにご返送くださいますようお願いいたします。

平成 17 年9月

京 都 市

■この調査に関するお問い合わせ先

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（担当：八代、後藤）

電話 222-3406

■最初に貴団体の概要についておたずねします。

問1 貴団体名、所在地、連絡先、代表者名をお教え下さい。

■ 団 体 名：
■ 所 在 地：
■ 代 表 者 名：
■ 貴団体の法人格の有無 （ 有 り ・ 無 し ） ← いずれかに○

TEL：

問2 貴団体を設立して、何年経ちますか。（○は1つ）

1. 1 年未満
2. 1 年以上 3 年未満
3. 3 年以上 5 年未満
4. 5 年以上 10 年未満
5. 10 年以上
6. わからない

■団体構成員の状況についておたずねします。

問3 貴団体の構成員（会員）の人数は、どのような状況ですか。

全構成員（会員）数	人
日頃、主に活動している構成員（会員）数	人

問4 構成員の内、男女構成および年齢構成等は、どのような状況ですか。

(1) 構成員の男女構成はどうですか。（○は1つ）

1. 男性の方が多い
2. 女性の方が多い
3. 男女半々

(2) 構成員の中心となる年齢構成はどうですか。（○は1つ）

1. 20 歳以下が中心
2. 20 歳代・30 歳代が中心
3. 40 歳代・50 歳代が中心
4. 60 歳代以上が中心
5. 特に年齢に偏りはない

問5 構成員（会員）の募集方法はどのような方法をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 人の紹介
2. 行政機関が発行する情報誌・ちらし・ホームページ
3. 団体自らが発行する情報誌・ちらし・ホームページ
4. ボランティア支援機関が発行する情報誌・ホームページ
5. 一般の新聞や雑誌
6. その他（ ）

問6 構成員の主な参加地域はどこですか。(○は1つ)

1. 同じ区内の構成員が中心
2. 構成員は地域には限定されていない(色々な地域から集まってくる)
3. メール会員など、かなり遠方の地域の構成員もいる
4. その他 ()

■団体の設立動機・年間の活動予算等についておたすねします。

問7 団体設立の動機は何ですか。(○は3つ以内)

1. 活動仲間を増やすため
2. 構成員の生きがいづくりのため
3. 構成員の知識・経験・資格を生かすため
4. 社会的信用を高めるため
5. 社会的な課題解決や市民ニーズに対応するため
6. 余暇を有効に活用するため
7. その他 ()
8. わからない

問8 貴団体の年間予算は、おおむねどの程度ですか。(○は1つ)

1. 10万円未満
2. 10～50万円未満
3. 50～100万円未満
4. 100～300万円未満
5. 300～500万円未満
6. 500～1000万円未満
7. 1000万円以上

問9 昨年(度)の収入源は、おおむねどの程度の比率となっていますか。

- ・会費収入 () %)
 - ・事業収入 () %)
 - ・寄付金・助成金 () %)
 - ・その他収入 () %)
- 具体的にそれは何ですか ()

■団体活動の内容についておたすねします。

問10 現在の主な活動分野は何ですか。また今後、特に力を入れたい分野(現在のところ、行っていないものも含む)は何ですか。それぞれの欄に○を付けてください。(あてはまるものすべてに○)

活動分野	現在の主たる活動分野	今後特に力を入れたい分野
1 高齢者福祉に関する活動		
2 障害者福祉に関する活動		
3 子育て支援に関する活動		
4 子どもや青少年の健全育成に関する活動		
5 社会教育の推進に関する活動		
6 スポーツに関する活動		
7 趣味・学習に関する活動		
8 文化・芸術振興に関する活動		
9 環境の保護・改善に関する活動		
10 景観・町並み保存に関する活動		
11 地域のまちづくりに関する活動		
12 防犯・交通安全など地域の安全に関する活動		
13 災害救援に関する活動		
14 清掃・美化に関する活動		
15 募金・チャリティイベントに関する活動		
16 花壇・農園づくりに関する活動		
17 男女共同参画社会の形成に関する活動		
18 国内での地域交流に関する活動		
19 国際交流・国際協力に関する活動		
20 地域の祭りや催し物などに関する活動		
21 情報化社会の推進に関する活動		
22 科学技術の振興に関する活動		
23 人権の擁護、平和の推進を図る活動		
24 経済活動の活性化に関する活動		
25 職業能力開発に関する活動		
26 消費者保護に関する活動		
27 その他 ()		

問11 現在の主たる活動分野について具体的な内容をお教え下さい。代表的なものを3つまで下記にご記入ください。

活動分野	具体的な内容
①	
②	
③	

問12 団体活動のために構成員が普段集まる拠点となる場所はどこですか。(○は1つ)

1. 構成員の自宅
2. 地域の集会所
3. 幼稚園・学校
4. 社会福祉施設
5. 公共施設等の会議室など
6. お寺・神社・教会など
7. 特に決まっていない
8. その他 ()

問13 活動頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週に数回程度
3. 月に数回程度
4. 年に数回程度
5. 特に決まっていない
6. その他 ()

■団体活動のサービス対象者についておたずねします。

問14 構成員以外の第三者に、何か具体的サービス（何か教えたり、手伝いをしあがりするようなこと）を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている → 副問へ
2. 行っていない → 問15へ
3. わからない → 問15へ

副問 問14で「1. 行っている」とお答えになった団体にお聞きします。

(1) その主な対象者はどのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者
2. 障害のある方
3. 女性
4. 子ども
5. 外国人
6. 特に対象者は限定していない
7. その他 ()

(2) そのサービス内容はどのようなものですか。具体的に教えてください。

(3) その対象者に対する活動は、有償で行っていますか。(○は1つ)

1. 全て有償で行っている
2. 全て無償で行っている
3. サービス内容により有償で行っている
4. その他 ()

■団体活動のメリットについておたずねします。

問15 活動していて、団体としてよかったと思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 団体の構成員に充実感ができた
2. 団体に新しい仲間が増えた
3. 団体構成員の技術・経験を磨くことができた
4. 団体活動が利用者に喜ばれた
5. 団体活動として地域社会に貢献できた
6. その他 ()
7. 特によかったことはない

■団体活動を展開する上での相談相手についておたずねします。

問16 貴団体のこれまでの活動に際して、困り事やわからないことがあった時、相談できる相手はどのような所でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 行政の担当窓口・行政職員
2. 社会福祉協議会
3. 社会福祉施設の職員
4. 市民活動総合センター
5. 福祉ボランティアセンター
6. 景観・まちづくりセンター
7. 長寿すこやかセンター
8. ボランティア団体のネットワーク（類似活動をしている他団体など）
9. その他 ()
10. 特に相談する相手はなかった

■団体活動への高齢者の参加についておたずねします。

問17 貴団体へ的高齢者の参加について、どう考えますか。(○は1つ)

1. すでに参加してもらっている → 副問1へ
2. 積極的に参加してほしい
3. 参加してもらうのは難しい → 副問2へ

副問1 問17で「1. すでに参加してもらっている」「2. 積極的に参加してほしい」とお答えになった団体にお聞きします。

新たに参加する(又はすでに参加している)高齢者に最も期待することは何ですか。(○は1つ)

1. 経験を生かした専門的な知識、活動
2. 年長者としてのリーダーシップ
3. 退職などで参加できる時間の長さを活かした恒常的な活動
4. その他 ()

副問2 問17で「3. 参加してもらうのは難しい」とお答えになった団体にお聞きします。

その主な理由は何ですか。(○は1つ)

1. 既存構成員と世代が違うので、意思疎通がうまくいかないと思うから
2. 活動の性格上、高齢者が活動するには難しいものがあるから
3. 活動内容自体が高齢者に不向きであるから
4. その他 ()

■多世代・他団体との連携についておたずねします。

問18 貴団体活動において、多くの世代の人と交流することは重要だと思いますか。(○は1つ)

1. とても重要だと思う
2. 重要だと思う
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない
5. わからない

問19 貴団体活動において、他の活動団体と交流することは重要だと思いますか。(○は1つ)

1. とても重要だと思う
2. 重要だと思う
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない
5. わからない

■団体活動に際しての課題についておたずねします。

問20 現在、貴団体が抱えている課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 新しい参加者が増えないこと
2. 高齢者の参加が少ないこと
3. 若い人の参加が少ないこと
4. 役員のなり手や候補者がいないこと
5. 活動の機会が増えたため人手が足りないこと
6. 構成員の労力や事務的負担が大きいこと
7. 構成員の経済的負担が大きいこと
8. 団体活動経費が不足していること
9. 活動を提供する場合・機会が少ないこと
10. 事務所など活動拠点が確保できないこと
11. 活動に対する社会的評価(社会的理解)が少ないこと
12. 活動をPRする手段が少ないこと
13. 団体活動に必要な知識・技能などを習得する機会がないこと
14. 他の団体との情報交換の機会がないこと
15. 相談できる相手がいないこと
16. その他 ()
17.今のところ課題や悩みはない

■団体活動の今後の展開方針についておたずねします。

問21 貴団体の活動の今後の展開について、お教え下さい。(○は1つ)

1. 活動をさらに拡大していきたい
2. 現状のままでもいいと考えている
3. 現在の活動が維持できるかを心配している
4. その他 ()

■市民活動の促進方法についておたずねします。

問22 一般的に市民活動を促進するために、特に求められることは何だと思われますか。
次の分類（行政、地域、団体）別にお答えください。

（1）行政に、より一層求められることは何ですか。（主なもの3つ以内に○）

1. 施設の提供
2. 情報の提供
3. 学習の場の提供
4. 相談窓口の充実
5. 担当する職員の意識・能力向上
6. 業務や事業の委託
7. その他（ ）
8. 特にない

（2）地域に、より一層求められることは何ですか。（主なもの3つ以内に○）

1. 住民・企業による活動拠点の提供
2. 活動に対する理解
3. 活動への参加
4. 提供サービスの活用・利用
5. 各種団体による情報交換と連携
6. 地域内の情報集約と提供
7. その他（ ）
8. 特にない

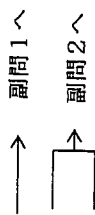
（3）団体自身に、より一層求められることは何ですか。（主なもの3つ以内に○）

1. 活動資金の確保
2. 活動拠点の確保
3. 広報機能の充実
4. 専門知識の習得
5. 情報公開
6. 構成員（会員）の積極的な参加
7. 他の団体との連携
8. 新分野への挑戦
9. 活動の場の拡大
10. 構成員（会員）の拡大
11. NPO法人格の取得
12. その他（ ）
13. 特にない

■高齢者に対する支援活動についておたずねします。

問23 少子高齢化が進む中、地域では、一人暮らし高齢者の孤独死、高齢者虐待、老々介護など、様々な問題が発生しています。このような地域の問題に対して、すでに各種ボランティア団体・NPO団体においても、様々な支援活動が展開されているところですが、貴団体では、こうした活動についてどのような考えですか。（○は1つ）

1. すでに実施している
2. 実施していないが、今後実施していきたい
3. 必要性は理解するが、実施は難しい
4. そもそも当団体の活動目的にならない
5. わからない



副問1 問23で「1. すでに実施している」とお答えになった団体にお聞きします。

具体的にどのような活動を実施されていますか。代表的なものを3つまでご記入ください。

①具体的に

②具体的に

③具体的に

副問2 問24で「2. 実施していないが、今後実施していきたい」、「3. 必要性は理解するが、実施は難しい」とお答えになった団体にお聞きします。

実施するに当たっての課題（条件）は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 活動の人手
2. 活動のための資金
3. 活動の方法
4. 活動の対象となる高齢者の情報
5. その他（ ）

■住民相互の助け合いの考え方についておたずねします。

問24 核家族化や少子高齢化が進む中で、私たち住民の日常生活で直面する課題(例えば子育て支援やひとり暮らし高齢者家庭における家事援助など)に対応していくためには、行政サービスだけではなく「住民相互の支え合い」が重要となると考えられます。

今後、貴団体が、こういった住民相互の支え合いに関わるサービスを担うとしたら、どのようなことが必要になると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動に対する地域や住民の理解
2. 住民ニーズの所在・内容等の情報、具体的な活動対象
3. 地域住民や自治会などとの連携
4. 構成員自身の意識向上
5. その他（
6. わからない

■自由記述

問25 団体を運営していて、苦勞した点、よかった点など、何かエピソードがあればお聞かせ下さい。

問26 今後の高齢社会に対応していくため、行政への要望などを含めて何かご意見があれば、自由にご意見をお聞かせください。

問27 最後に、今後の高齢社会対策に当たって、ボランティア団体・NPO団体の皆様への声を反映させることを目的として、後日、いくつかの団体へヒアリング調査を行うことを考えております。貴団体では、このヒアリング調査にご協力いただけますか。

1. 協力できる
2. 協力できない

※ 調査はこれで終了です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

※ 記入もれなどがないかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒に入れ、平成17年9月22日（木）までにご返送下さい。

※ 記入もれなどがないかも一度お確かめの上、同封の返信用封筒に入れ、平成17年9月22日(木)までにご返送下さい。